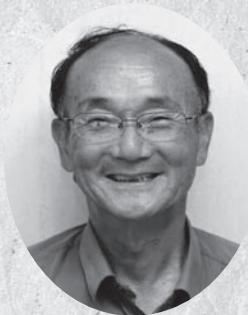


Interview

「滝区ササユリの里づくり」推進委員

わたなべ けんぞう
渡辺 健三さん



以前に仕事でバイオテクノロジーに携わっていた経験を生かして、最近ではあまり見ることでなくなった「ササユリ」を守り育て故郷を賑わそうと、子どもから高齢者までが一緒になって活動しています。また、今年度からは市の市民協働事業として採用していただいたことで、より幅広く取り組んでいけることになりました。

科学の力でササユリの数を増やすことはできても、その後定着させるためには、生育に適した環境を人が保全していかなければならないということも、この活動を通して伝えていきたいと思っています。

「ジャコウアゲハ」や「キキョウ」、「チュウサギ」などは、市内一円で比較的よく見かけることができます。
また水棲の「カスミサンショウウオ」や「ホトケドジョウ」などについては、全国

甲賀に残る「地域種」

希少な「地域種」とは
里山や農地などで昔からよく見かけた動植物の多くは、実は人の暮らしと自然との調和によって育まれてきました。
水の張られた水田、除草されたあぜ、間伐のされた里山など、適度に人の手が入った環境に適していたからこそ、生き残ることができたといわれています。
市内では今でもこういった環境が残されており、他の地域では見ることが難しい数多くの「地域種」と呼ばれる希少な動植物が生息しているのです。

市の花「ササユリ」

ササユリは、以前なら中部地方より西であればどこにでも見られた植物でしたが、近年では徐々に自生地が減少し、一部の地域においては絶滅の可能性が極めて高い種、絶滅危惧Ⅰ類等に指定されているほどです。
市内でも自生地が複数確認されているものの、もはや「ありふれた野草」とは言えないほど減少しました。
こういった状況を危惧した地域の皆さんにより、市内各地で保護活動が行われており、また市の施設であるみなくち子ども森でも自生地の保護や研究を行っています。

みなくち子どもの森 自然館



自然観察の様子

みなくち子どもの森ではこういった希少生物の調査研究や保全活動を行っています。
また、子どもから大人まで、生きものや自然について学べる自然観察会などを定期的に開催しています。ぜひご参加ください。

※「甲賀市レッドデータブック」については自然館で販売しています（1冊800円）。

しぜんさんぽ

「ササユリの咲く森を歩こう」

【日時】6月16日（土）14:00～
（1時間程度）

【対象】子どもから大人まで。
（※団体不可）

【集合】自然館前
【持ち物】野外用の服装

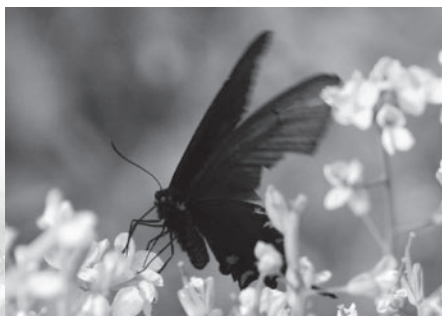
問い合わせ

みなくち子どもの森
☎ 63・6712 063・0466



ホトケドジョウ

体長約6cmで太く短い形状をしています。冷たく、流れの緩い河川や水田の周りの水路に生息しています。
環境省は絶滅危惧ⅠB類に指定しています。



ジャコウアゲハ

羽を広げると約10cmの大きさになり、^{じょうこう} 麝香のような匂いを出します。主に幼虫の食草が生える河川の土手に発生します。
生息数を減少させており、絶滅を危惧する自治体も増えてきました。



キキョウ

日当たりの良い山地や平野に自生し、6～9月頃に花を咲かせます。
環境省は絶滅危惧Ⅱ類に指定しています。



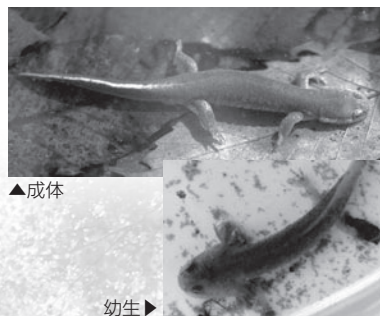
チュウサギ

体長は70cmほどの中型の白鷺です。主にカエルや昆虫類を捕食するため、水田でよく見られます。
環境省では準絶滅危惧種に指定しています。



ハッチョウトンボ

体長約2cmの日本一小さいトンボで、平地や丘陵地の湿地を好みます。多くの県が絶滅危惧種に指定しており、既に絶滅した地域もあります。



カスミサンショウウオ

体長10cm程度。湧水のある湿地や水田等を好みます。環境省は絶滅危惧Ⅱ類に指定しています。

甲賀市の希少生物

甲賀市の代表的な「地域種」の一部を紹介いたします。（その他の「地域種」は、甲賀市レッドデータブックをご参照下さい。）

昔からあたりまえのように周囲に存在していた動植物。しかし近年、環境の変化などによりそのあたりまえの風景が失われつつあります。
市の花であり、この季節になると里山や林道沿いに可憐な花を咲かせるササユリもそのひとつであるといえるでしょう。
今回は、「こういった」身近な存在でありながら希少な動植物」を紹介します。

甲賀に根付く自然といきもの ～人々の生活と共に育まれた希少な「地域種」～

市内で自生するササユリ